

フブ・服部の中国通信

## iPhone6 狂想曲

「えっ？ またですか??」、つい声に出してしまいました。  
 何度目になるでしょう・・・ 「服部、今度廈門に来るんでしょ? iPhone6 買って来てよ！」  
 この手の電話を受けるのは何度目のことか・・・

依頼主はいまや経済力でも世界屈指の実力をもつ中国の、さらに富裕層寄りの方々、言ってみれば私なぞより遥かにお金持ちです。何でわざわざ・・・と思ったりもするのですが、この手の依頼が絶えないのには訳があります。

まず、日本では今年の9月19日に発売されたiPhone6、この日付に発売が開始されたのはアメリカ、カナダ、イギリス、フランス、ドイツ、オーストラリア、シンガポール、香港、そして日本の九ヶ国(正確には八ヶ国と一地域)。中国本土はこの先行販売地域から漏れてしまったようなのです。

理由について真偽のほどは定かではありませんが、一部の報道によるとiPhone6発売前に、同機に関する機密情報が中国側からリークされてしまったからだとか。

その後、今日に至るまでの騒動は日本でも報道されている通り、家電量販店に殺到した中国の方と店側でトラブルになってみたり、中国のインターネットで、日本や香港で購入したと思しきiPhone6が倍額以上で販売されていたり、大変な事になっていました。それでも買う人いるんですね～  
 また当初は中国本土での発売時期が未定だった事もあり、皆様こそって我々「相場価格で確実に購入できる」日本人に購入を依頼していたと言うわけです。

そして先日10月17日、中国本土でもiPhone6が無事解禁となり、事態も収束に向かうかと思っただのですが、ここ1週間でもまた三件ほどご依頼の電話(笑)をいただいております。

えっ? なんでもまだ?? 疑問は尽きませんが主な理由は二つ

### お届け商品

出荷 1 出荷予定日: 7-10営業日  
 お届け予定日 2014/11/01 - 2014/11/07 : 通常配送



iPhone 6 64GB シルバー

¥79,800

先方が依頼をしてきているモデルが↑なのですが、日本だと税込 ¥86,184 です。これが中国での正規販売価格になると RMB6048 (現在の円: 元レートが¥10,000 ≒ RMB520)、日本円換算すると、ざっと11万6千円! 約3万円もの差額があるのです。

おお！日本で iPhone6 を買って中国で転売したら儲かるな！などと思ったりもしたのですが、私ごときが思いつくような事は頭の回る方々はとっくにやっているようで、中国側の税関でも対策をし、すでに大量に押収されているようです。

私が持って行って、万が一押収でもされようものなら私の財布なぞ瞬時に破綻してしまいます（汗）

もう一つの理由は・・・あるんです、iPhone6 の偽者。

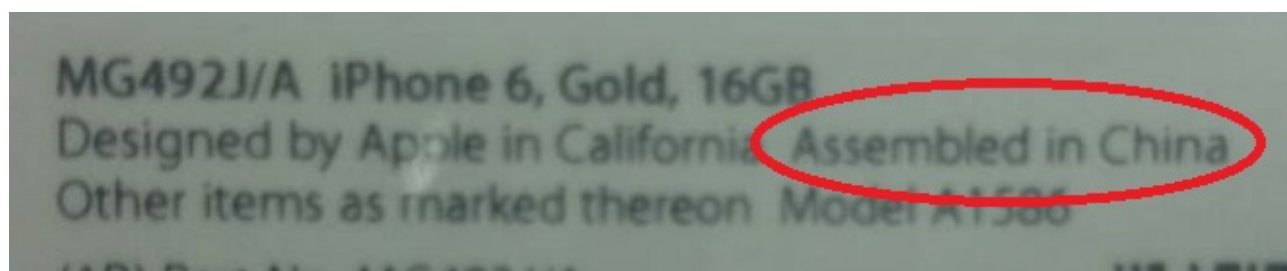


↑中国の報道で出ていた iPhone6 の偽者です。9月19日の正式発売に先駆けて7月には販売開始されていたとか（笑）すばらしい出来ですね（笑）

iPhone ユーザーでない私などはつかまされても気づかないかもしれません。

インターネット等で iPhone6 を購入し、こんなものを混ぜられてはたまらない、というのもあるでしょう。私には依頼してきた人達は、こちらの理由が大きいのかもかもしれません。

やはり中国では日本から持ってきたものは信用できる、と言う風に考える方が多いようです。



まあ、iPhone6 の組み立ては中国でやっているのですが（笑）

題名にもしましたが iPhone6 狂想曲、はていつまで続きますやら。

## インドバングレー入荷しました。

お仕事の話も少ししておきましょう。

お待たせしました。と、言っても既にご存知の方も多いでしょう。

長きに渡り供給が停止していたインドバングレー、再入荷しております。

山の詳しい状況は、インド担当：佐藤のネタを取っても申し訳ないので彼の文章に譲りますが、上品な色目でインドグレー系最高級材の一角としてご好評いただいていた石種だけに、ようやくお問い合わせ

にお答えできるようになり安心しております。

昨年「入る、入る」と言いつつなかなか入らず大変ご迷惑をおかけしましたが、今度は確かに入荷しております。決して「入る、入る！ 詐欺」ではありません！（笑）



↑生産中の製品



↑石目も綺麗です。



さて、目合いです（写真左）、個人的な印象としては以前のものと比べやや目が細かく、色が黒っぽくなったかな、という印象。上品で高級感のある石目は健在です！！

また、「アーバングレーより少し上の石が欲しいけどバングレーは値段が高いなあ〜」という方には中間層のラインナップとして、弊社の「H-2」（写真右）などいかがでしょうか？価格、石目ともにインドグレー系の中上位石種としてご好評いただいております。詳しくは弊社営業員までどうぞ。

それでは今月もそろそろお後がよろしいようで、また来月お会いしましょう。再見。